

評価及び取組報告書

2024年1月16日

学校法人万田学園 育英幼稚園

園長 上野 通子

次のとおりわかば環境 ISO の取組結果を報告します。
評価結果を踏まえ、継続的な取組に努めます。

1 取組の紹介

共通メニュー		
省資源	省エネ	ごみの減量化
<ul style="list-style-type: none"> 水道は、途中使わない時は意識して止めよう。 水を出す時は、指位の細さにして出そう。 繰り返す資源の再利用。 使い終わった排水を花壇や園庭に水をまこう。 コピー用紙の裏紙を利用。 段ボール等の再利用玩具作り。 	<ul style="list-style-type: none"> 部屋の電気は、部屋を出る時は、消しましょう。 消す等して、意識しながら取り組みましょう。 暖房をあまり使わず、体を動かして運動(遊び)をする。 冷暖房の室温の目安を設定いつでも換気を十分にする。 	<ul style="list-style-type: none"> ビン牛乳のラベル分別・・・プラクル ラベル。 カレンダーの裏や使用済みポスターの裏紙利用、遊び用具、お知らせ等の紙に再利用。 廃材利用・・・空き箱制作等の工作利用(ドラえもんのかぶネット改良拡大)

独自メニュー

○メニュー掲示
すべての環境への配慮する態度を育む。
やさしいひとことの声かけ合い「まみむめもったいない」

- ・まだつかえるよ
- ・みずはとめてね
- ・むだづかいはだめ
- ・めざせおさらピカピカ
- ・もったいない

今こそ優しい気持ちを伝え合いましょう。

○自然を活かした取り組みがいっぱい
たくさんの自然の恵みを活かすこと蝶の居場所
(柑橘系の木・三つ葉の葉・キャベツ畑・人参の草花・ピオラ) 花畑(球根・アゲハの幼虫・果樹いちご・木の実) 芝生の活用、小さな生き物に対する気持ちを大切にしたい。

○腐葉土づくり
桜の落ち葉や雑草などを入れておくポットが、土となりとても良い腐葉土となりました。秋の草花のプランタンや畑の肥料となった。

子どもたちは落ち葉の変化に驚いていた。枯れ葉は昆虫たちのいいお布団にもなる。





独自メニュー

子どもたちの活動の中では、自分たちのできることから取り組む姿勢作り。難しく考えず、身近にできることから取り組む。

- ・感謝の気持ちで食事を頂こう ・水筒やエコバックを持ち歩こう。
- ・手を洗い、清潔につとめよう。 ・植物を大切に育てよう。
- ・あそびや学びの機会を大切にしよう。 ・みんなでルールを作って守ろう。
- ・水をたいせつに使おう。 ・「心のバリアフリー」を広げよう。
- ・電気をこまめに消そう。
- ・伝統行事にたずさわり、伝統を守ろう。
- ・地元の食べ物を楽しもう。
- ・お友だちと仲良く過ごそう。
- ・防災訓練に積極的に参加しよう。
- ・衣服を大切に着よう。 ・自転車や歩きで移動しよう。

ISO の取り組みから、SDGs の取り組みへと各年齢に合わせた考え方を実践していった。

